

授業科目 高齢期障害作業療法学

【担当教員名】 岩崎テル子	対象学年	3	対象学科	作業
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【＜概要＞又は＜一般目標：G I O＞】

- 1) 高齢者を取り巻く社会的問題の現状と背景を理解する
- 2) 高齢者の心身の特性・障害を理解できる
- 3) 高齢者に対する作業療法のプロセスを理解し、実践に必要な基礎知識・技術を習得する

【＜学習目標＞又は＜行動目標：S B O＞】

1. 老化について説明できる
2. 老年期の身体的特徴を説明できる
3. 老年期の心理的特徴を説明できる
4. 老の受容、死の受容、老年期の発達課題について説明できる
5. 老年性疾患、障害を説明できる
6. リスク管理について説明できる
7. 作業療法計画に必要な高齢期障害に関する評価の手段を列挙、説明、実施できる
8. 高齢者に必要な社会資源を列挙できる
9. 高齢者に対するリハビリテーション、OTの役割、OTのプロセスを説明できる
10. 具体的ケースに触れ、作業療法のプログラムを立てることができる

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	高齢社会の問題点 少子高齢社会の問題点	1	講義
	老年期の特徴 高齢者像	4	
2	老年期の課題と障害 老年期の身体的特徴	2	講義
	老年期の心理的特徴	3	
3	老年期の障害学	5	講義
4	老年性疾患・障害	5	講義
5	リスク管理	6	講義
6	高齢者に対する評価 障害高齢者の評価 ①. 身体機能評価 ②精神心理機能評価	7	講義
7	同上 情報収集、問題点の抽出、評価の留意点、評価のまとめ など	7	講義
8	高齢者支援の社会制度:改正介護保険法の内容と問題点	8	講義
9	高齢者への種々のアプローチ	9	講義
10	作業療法の実際 老化と作業療法	7～	講義
11	作業療法の実際 痴呆と作業療法	10	講義
12	症例検討、発表	10	グループ
13	症例検討、発表	10	グループ
14	症例検討、発表	10	グループ

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書				
参考書	痴呆性老人のユースフルアクティビティ、	三輪書店、2002、3,800		
	痴呆性老人のための作業療法の手引、老年者のプログラム	医歯薬出版、老年期の心理と病理	他	
その他の資料	高齢者のための知的機能検査の手引、	竹内孝仁他、ワールドプランニング、2001、	第11刷、¥1,457+税	
	随時紹介			

【評価方法】	【履修上の留意点】
出席点 5%	①高齢者問題に関するニュース（新聞・テレビ・ネット）を集めてスクラップ・ブックを
レポート・発表20%	②高齢者に関する政府の調査統計資料を調べる習慣をつける。
期末試験 75%	③COPMを実施し、高齢者のニーズとぞの遂行度、満足度を知る。